

2019年度 第2回 理事会 抄録

日時： 2019年5月19日（日） 9：30～14：30
場所： 田町カンファレンスルーム
出席： 理事： 半田、斉藤、森本
 網本、梶村、黒澤、白石、高橋（哲）、高橋（仁）
 谷口、知脇、中川、藤澤、松井、山根、吉井
 監事： 太田、長澤、辺土名
欠席者 理事： 内山、植松、伊藤、大工谷、田中、中前
 監事： なし

I. 審議事項

（全9題）

1、2018年度 事業・決算報告の承認について（半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長、網本常務理事、植松常務理事、梶村常務理事、黒澤常務理事、高橋（哲）常務理事、松井常務理事、吉井常務理事）	承認
2018年度の事業・決算案が報告された。 【主な意見】 ・学会法人化を検討するにあたっては、管理費も含めて赤字にならないように学会側の組織強化も必要ではないか。 ・分科学会の目的が科学の追及であるのであれば、質の向上に努めていただきたい。	
2、監事候補者の推薦について	（半田会長） 承認
会計に精通した監事候補者として、以下の者が推薦された。 〈会計に精通した監事〉 辺土名 厚（公認会計士） 理事会の承認を経て第48回定時総会にて正式に推薦される。	
3、顧問、相談役の推薦について	（半田会長） 承認
2019・2020年度の顧問、相談役に以下の者が推薦された。 〈顧問〉 伊東 弘泰、栗原 正紀、高木 邦格、対馬 徳昭、浜村 明德、和田 勝、宮島 俊彦、中村 秀一、久保 俊一 〈弁護士〉 五木田 彬 〈税理士〉	

<p>高梨 純 〈社会保険労務士〉 成田 妙庫 〈相談役〉 奈良 勲、福田 修</p>

4、役員報酬等委員の推薦について	(半田会長)	承認
<p>役員報酬等委員として、以下のように推薦された。</p> <p>委員候補者：市川 彰、林 克郎、宮本 謙三 成田 妙庫 (社会保険労務士)、辺土名 厚 (公認会計士)</p> <p>任 期：選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時まで</p> <p>理事会の承認を経て第 48 回定時総会にて正式に推薦される。</p>		

5、次期議事運営委員の推薦について	(半田会長)	承認
<p>次期定時総会にて議事運営委員の立候補がない場合に備え、以下の者が次期議事運営委員として推薦された。</p> <p>議事運営委員候補者：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原 慶勇 (秋田県士会) ・岡持 利亘 (埼玉県士会) ・森島 健 (東京都士会) ・和泉 謙二 (静岡県士会) ・宮野 清孝 (山口県士会) ・牧野 三諸 (事務局職員) 会長指名 <p>任期：第 48 回定時総会終了時から第 49 回定時総会終了時まで</p> <p>理事会の承認を経て第 48 回定時総会にて正式に推薦される。 但し、立候補がある場合はこの限りではない。</p>		

6、第 48 回定時総会 議長団の推薦について	(半田会長)	承認
<p>第 48 回定時総会の議長・副議長について、立候補がない場合に備え、以下の者が推薦された。</p> <p>議長 : 赤崎 昭朗 (鹿児島)</p> <p>副議長 : 鳥山 喜之 (愛知)</p> <p>※なお、以下の者は議長、副議長の指名による 議事録署名人： 須藤 恵理子 (秋田)、山本 克己 (兵庫)</p>		

書記 : 戸塚 満久、(事務局職員)、山崎 達彦 (事務局職員)

議長団が承認された。
但し、立候補がある場合はこの限りではない。

7、各種規程の改定について

(森本副会長)

一部承認

組織・規則等検証委員会における定款、定款細則、政策参与委嘱規程についての検討結果について審議が行われた。

また、倫理・業務指針検討委員会にて作成された倫理綱領の改訂案の審議が行われた。

【変更点】

- 定款
 - ・主たる事務所の所在地を変更 (渋谷区→港区)
 - ・代議員の定数変更 (「300人に1人の割合」→「300名」)
 - ・代議員任期の変更 (「代議員選挙終了まで」→「定時総会終了まで」)
- 定款細則
 - ・代議員算出方法の変更
- 政策参与委嘱規程
 - ・喪失事由を追加
- 倫理綱領
 - ・序文を一部変更した。
 - ・倫理綱領 (解説) については、次回理事会まで確認いただき次回理事会で決議をお願いする。

【主な意見】

<定款・定款細則>

- 総会においては、代議員数変更に伴い、都道府県ごとの定数を示した方がよい。
- 代議員の任期を変更した場合、代議員選挙当選から第1回目の定時総会出席まで1年4ヶ月空いてしまうため、変更しない方が良いのではないか。

<政策参与委嘱規程>

第2条は文言含めて見直しが必要ではないか。

定款については、事務所移転・代議員数の定数変更のみ承認された。

政策参与委嘱規程については、文言修正が行われることを前提に承認された。

8、新生涯学習制度について

(半田会長)

承認

4月の拡大組織運営協議会以降、登録理学療法士までの部分 (前期研修・後期研修) について、主に運用面について委員会にて再度検討をした。

今後、会員・士会へ広報するにあたり、審議が行われた。

【主な意見】

- 実地研修の単位認定については、士会事務局、役員の負担増にならないか。
- 「より専門性の高い臨床技能を有するスペシャリストの育成」に認定・専門の領域を置いているが、「スペシャリスト」ではなく、「プロフェッショナル」などにしたほうが良い。あるいは、先ほどの倫理綱領にあった「生涯にわたり研鑽を重ね」など、そのような要素が定義にあったほうが良い。
- ベテラン理学療法士の新プロ未修了者の扱いをどうするのか。制度変更後に新プロ免除にする必要はない。
- 新プロ未修了者には丁寧な案内が必要だろう。
- 前期・後期の到達目標があり、その次にカリキュラムが来ているが、到達目標を達成するためのカリキュラムなのであれば、そのカリキュラムがどの到達目標を達成するためのものなのかを整理したほうが良い。
- 症例発表の質が低下しないような方法も検討すべきではないか。
- 総会に提案するにあたって、会員の同意が必要なシステムであるため、どのようにして同意を得るかは重要だ。

新生涯学習制度（登録理学療法士までの前期研修・後期研修）について、骨格が承認された。

9、新入会員の承認について

（半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長）

承認

2019年4月2日－2019年5月1日の間、新規申請をした正会員 771 名の入会が承認された。

また、同期間の会員動向が以下の通り報告された。

- ・復会者：163 名
- ・休会者：134 名
- ・退会者：45 名

I. 報告事項

(全 13 題)

会長行動録・事務局報告

2019年4月 - 5月19日（理事会開催前日）までの会長行動録が報告された。
また、事務局報告がなされた。

1、2018年度選挙管理委員会報告

(選挙管理委員会 高橋委員長)

選挙管理委員会より、以下の選挙について報告がなされた。

- 役員候補者選挙
理事候補者においては立候補者が定数を超えたため、選挙投票が行われ投票者が決定した。
監事候補者においては立候補者が定数だったため、実施要綱に則り該当の立候補者を当選者として決定した。
- 会長候補者選挙
会長候補者においては立候補者が定数だったため、実施要綱に則り該当の立候補者を当選者として決定した。
- 分科学会運営幹事選挙
12分科学会中6つの分科学会にて立候補者が定数を超えたため、選挙投票が行われ、投票実施学会含め、計168名の運営幹事が選出された。

【主な意見】

- サイトにアクセスしていない状況であるので、失念されている可能性が大きいだろう。もし、立候補者の人となり分からないのであれば、立候補届とその詳細を確認いただきたい。
- メールでアナウンスしても難しいのであれば、リマインドの方法も検討されてはいかかがか。
- 理事会から強いメッセージを出せないのか。100%にならないのであれば、選挙制度自体の見直しを行った方がよい。
- 分科学会・部門の登録についても、今後検討が必要であろう。

2、第48回定時総会の進行および提案・答弁について

(森本副会長)

進行および提案・答弁の予定が報告された。

3、第54回日本理学療法学会学術研修大会（徳島）進捗状況について

(斉藤副会長)

運用面の進捗状況ならびに決算見込みが報告された。

4、WCPT 総会・学会 2019 in Geneva 出席報告

(半田会長)

WCPT 総会・学会出席および決定事項等が以下の通り報告された。

- ・ 内山副会長が立候補していた AWP 地区理事に就任
- ・ WCPT2023 総会・学会の東京開催が発表
- ・ 本会提案議題「地球温暖化に対する理学療法士の世界的イニシアティブ」承認
- ・ 学会における開会式、レセプション、様々な講演スタイル、ポスター掲示方法、展示会場、再度イベントなどについての情報収集

上記のほか、以下の報告がなされた。

- ・ アジア理学療法フォーラムのフォローアップのためのディナーパーティにて、アジアの人材育成について意見交換
- ・ エミレーツ協会・スイス協会との意見交換
- ・ ベトナム教育支援について意見交換
- ・ 「1カ国につき WCPT への加盟は1団体まで」と決定されたことを受け、台湾や香港の協会を支援していく意向

5、常任理事会 会議報告

(森本副会長)

常任理事会の結果等について、以下の通り報告された。

● 第1回常任理事会

協議事項：

1. 理学療法士賠償責任保険 代理店の分担割合の変更について
2. 理学療法白書 2019 年度版の企画（案）について
3. 臨床実習教育の手引きの作成・出版について
4. 学会版 MMT&ROM 評価指針の公開について
5. 理学療法ガイドラインの出版について
6. 教員研修会の検討組織について
7. 臨床実習指導者中央講習会での講師発言について
8. 倫理綱領の対象範囲について
9. 職員の永年勤続表彰について

結果：1-9 について協議された。

報告事項：

1. 理学療法士賠償責任保険 非幹事代理店の変更について
2. 団体医療保険の代理店変更について
3. WCPT 総会学会 2019 関連
4. アジア理学療法フォーラム (APTF) -アジア圏域での理学療法士の人材育成の在り方と方向性-
5. アドバンスング理学療法 in ベトナム での WCPT 事業への協力について
6. 地域保健総合推進事業の今年度事業報告と次年度事業計画について
7. 第3回理学療法士・作業療法士需給検討分科会について

8. パレスチナにおける理学療法支援にかかる JICA プロジェクトへの協力について
9. 資金繰りについて
結果：1-9 について報告された。

6、理学療法士労働環境委員会 報告書について (隆島理学療法士労働環境委員会委員長)

理学療法士労働環境委員会において、理学療法士の労働環境・処遇等に関する調査報告書が作成され、報告された。

7、2019・2020 年度代表運営幹事・委員長等について (網本常務理事)

2019・2020 年度代表運営幹事・委員長等の選出について、各種規程に基づいて報告された。

8、学術大会の事業計画の承認について (網本常務理事)

2019・2020 年度代表運営幹事・委員長等の選出について、各種規程に基づいて報告された。

9、職能に資する調査研究事業について (網本常務理事)

2018 年度に実施した職能に資する調査研究事業について、以下 2 件の報告書提出が報告された。

- ・ 日本支援工学理学療法学会
「義肢における理学療法士の関わりの実態調査」
- ・ 日本予防理学療法学会
「理学療法士が関わる介護予防事業の効果－医療費ならびに介護費に与える影響について－」

10、職業性腰痛予防講師育成研修会 (STEP1) (STEP2) について (植松常務理事)

職業性腰痛予防講師育成研修会 (STEP1) (STEP2) について、開催実績が報告された。

11、平成 30 年度診療報酬・介護報酬等各種調査研究事業 (事業番号：904)

「地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション専門職の取り組みとリハビリテーション実施状況に関する調査」の結果について (松井常務理事)

2018 年度に実施された事業「地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション専門職の取り組みとリハビリテーション実施状況に関する調査」の結果が報告された。

12、広報誌「笑顔をあきらめない Vol.25」の発行

(森本副会長)

2018年度事業として、広報誌「笑顔をあきらめない Vol.25」(テーマ：腰痛)の発行が報告された。

13、第2回アジア次世代リーダーミーティング報告

(高橋哲也常務理事、内山副会長)

シンガポールで開催した第2回アジア次世代リーダーミーティングが報告された。

以上